

令和5年度病害虫発生予察注意報第12号

令和5年9月28日
愛知県

作物名：ダイズ、野菜類、花き類
病害虫名：ハスモンヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 病害虫発生予察注意報第9号の発表時点（9月13日）から本虫の発生が更に増加している。
- (2) 9月下旬にダイズほ場で実施した巡回調査（9地点18ほ場）において、本虫の寄生株率は28.4%（平成2.7%、前年1.3%）で、過去10年間と比較して最も高い。
- (3) 9月下旬にキャベツほ場で実施した巡回調査（9地点18ほ場）において、本虫の寄生株率は5.5%（平成0.3%、昨年0.1%）で過去10年間と比較して最も高い。
- (4) フェロモントラップの9月第1半旬から9月第5半旬までの総誘殺数（区）
 - ・長久手市（露地畑ほ場）3,129頭（平成1,165頭、前年1,935頭）であり、過去10年間と比較して最も多い。
 - ・豊橋市（ハクサイほ場）7,910頭（平成4,529頭、前年4,576頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
 - ・田原市（キャベツほ場）1,401頭（平成560頭、前年1,212頭）で、過去10年間と比較して2番目に多い。
 - ・弥富市（ダイズほ場）1,058頭（平成737頭、前年263頭）で、過去9年間と比較して3番目に多い。
 - ・安城市（ダイズほ場）503頭（平成31頭、前年10頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
 - ・西尾市（ダイズほ場）593頭（平成217頭、前年17頭）で、過去10年間と比較して2番目に多い。
- (5) 9月28日名古屋地方気象台発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、発生を確認したら速やかに対象作物に登録のある薬剤を選んで防除する。
参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)
8月18日発表のハスモンヨトウ情報第2号（ダイズ、キャベツ）も参考にする。
- (2) 今後ほ場への飛来が続くことが予想されるため、薬剤防除後もこまめにほ場を巡回し、発生状況に注意する。卵塊や分散する前の若齢幼虫は捕殺する。
- (3) 本虫は寄生範囲が広い。ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。
- (4) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471

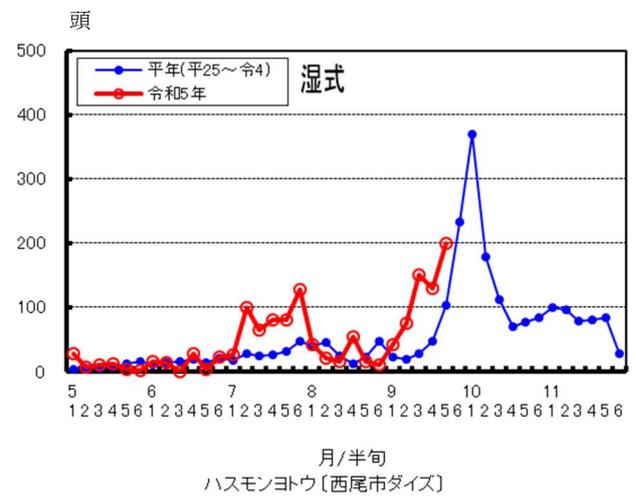
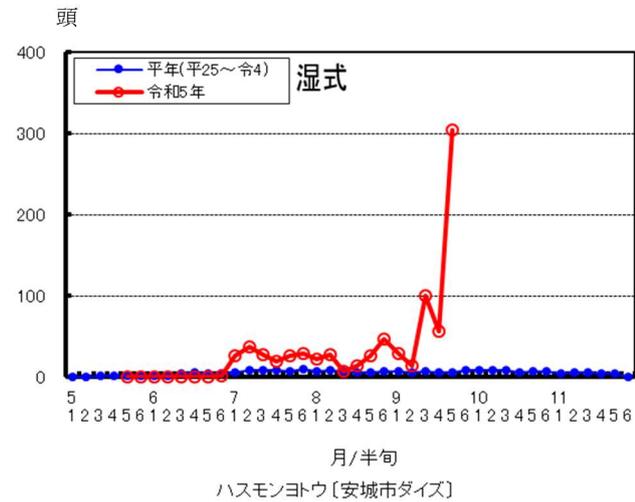
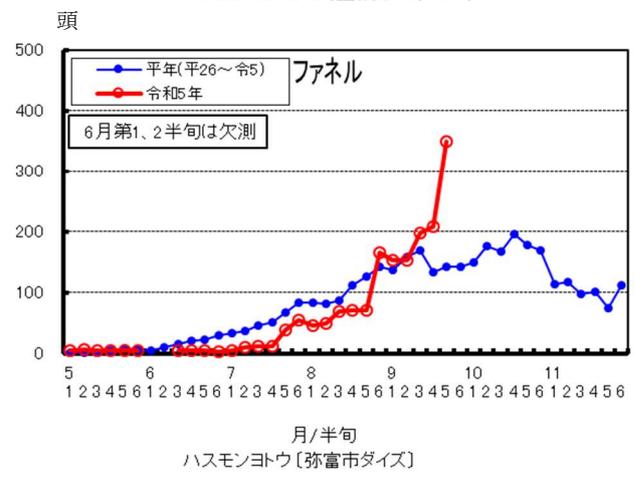
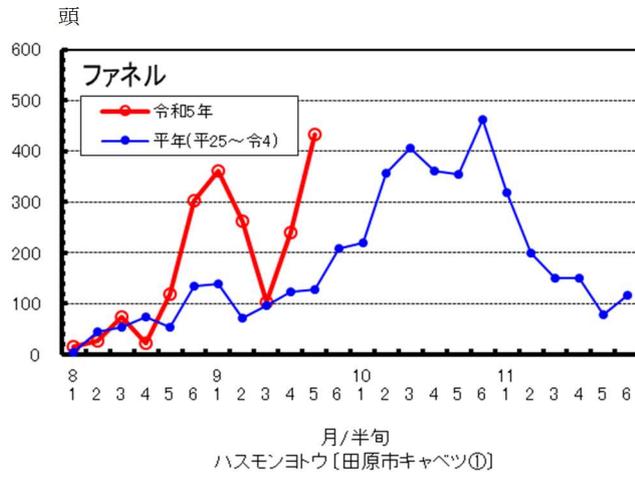
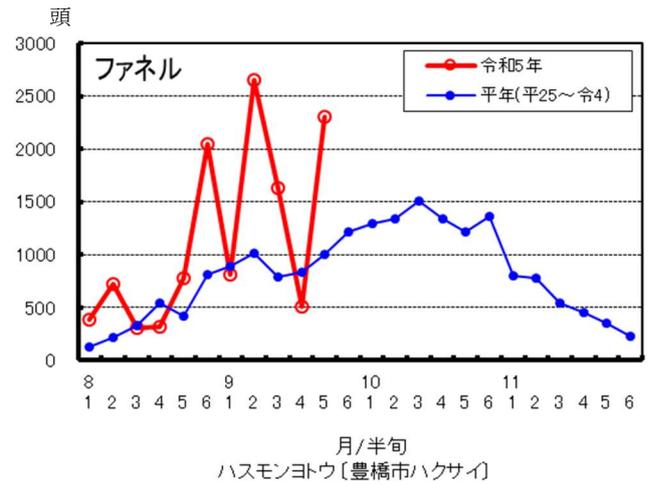
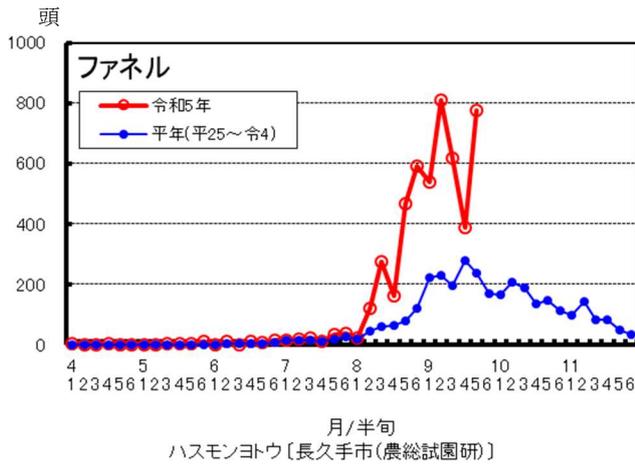


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数